

平成24年度 福島県地域医療体験研修《冬》



写真：猪苗代湖と磐梯山

地域医療を知るはじめの一步は、福島県の地域医療体験研修で！

福島県では、医学生の皆さんに、地域の医療現場を実際に、「見て」「聞いて」「感じて」いただき、地域医療への興味をより深めていただくため、地域の医療機関及び住民の皆様にご協力いただき、地域医療体験研修を実施しております。

冬のなごりをとどめる県南、会津及び相双の3地域で、地域の特色を生かした、ほかでは体験することができない体験研修を用意しておりますので、お気軽に是非ご参加下さい。



【県南コース】

豊かな自然、歴史、文化のふるさと
「ひがししらかわ」で
“地域医療体験”と地域の住民と素敵な交流を



みなもん

【期日】平成25年3月12日(火)～13日(水)1泊2日



研修の概要

○ 研修の趣旨

地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、福島県東白川郡における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

● 地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察します。

● 地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

● 地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

過去の研修



健康教室開催



地域住民との交流



吉田富三記念館見学



病院視察

アピールポイント

- 東北の最南端“みちのくの玄関口”福島県南地域は首都圏から新幹線使用で約2時間です。
- 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山（ふるさと）です。
- 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してください。

参加者の声

今回、私は以前同じ企画に参加した先輩の紹介により参加を決めた。



この研修は予想以上に有意義で、東日本大震災で大きな被害を受けている「ふくしま」に対する見方も大きく変わった。特に良かったのは、行政、個人病院、中小病院、大学病院、老人・障がい者施設など医療や福祉に関わる様々な方々のお話を聞き、直接議論を交わすことが出来たことだ。

震災後、放射線の長期的な影響が懸念される中で、「福島は将来、長寿県になるだろう！」という福島県立医科大学の先生の言葉が印象的だった。すべての県民に毎年検診が義務化され、今まで以上に病気の早期発見に繋がることによるようだ。

自分の足で実際に、関心のある土地を訪ね、現地の方に直接お話を聞くということが、メディアや書物などによる情報よりも、ずっと生きた体験として自分自身を動かしていくものだと強く感じた。

私は地域医療に関心はありましたが、実際にその詳しい現状についてはよくわかりませんでした。

矢祭町の診療所「金澤医院」は地域住民とのつながりを大切にし、予防医療を行ったり、介護とも連携をとったりなど、地域医療として重要な役割を果たしていました。院長の金澤先生の言われた「患者1人の生涯をずっと見守り続ける」という言葉が印象的でした。

鮫川村では住民の皆さんとの交流会の後、血圧測定などの健康教室を行い、その結果をまとめた発表会を行いました。このような健康診断を行うような体験は初めてだったのですが、住民の温かい人柄にも触れることができ、貴重な体験だったと思います。

この体験は、将来自分が医療従事者となって働く上で大きく影響すると思います。それ位、何か感じるものがあった研修の3日間でした。



行程表

※ 全行程借り上げバスでの移動となります。

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月12日(火)	8:30	朝(ー)	矢祭町 東館温泉 「ユーパル矢祭」
	9:00	昼(○)	
	10:30	夜(○)	
	10:45～11:15	県南保健福祉事務所(オリエンテーション)	
	13:30～15:30	金澤医院の視察・診療訪問への同行	
	16:00～17:30	塙厚生病院の視察	
3月13日(水)	18:00～20:30	医療従事者との懇談会・夕食会	朝(○) 昼(○)
	8:40～9:40	ユーアイホームでの回診同行・見学	
	10:15～11:15	吉田富三記念館の見学	
	11:15～13:15	バス移動・白河市内散策・昼食	
	13:15～15:00	白河厚生総合病院の視察・臨床研修医との懇談会	
	15:15	JR新白河駅東口着	
	16:30	福島県立医科大学着	
17:00	JR福島駅西口着		

【会津コース】



奥会津の地域医療

～雪深いまちで暮らす住民の実情を知る～



【期日】平成25年2月28日(木)～3月1日(金)1泊2日



研修の概要

○ 研修の趣旨

奥会津地域のへき地診療所、へき地医療拠点病院及びそれを支える地域医療支援病院の視察並びに地域住民との交流などをおし、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

● 地域医療現場の視察

奥会津地域のへき地診療所、へき地医療拠点病院及びそれを支える地域医療支援病院を視察し、それぞれの役割について理解を深めます。

〔視察先〕柳津町国民健康保険診療所（柳津町）、福島県立宮下病院（三島町）、竹田総合病院（会津若松市）

● 医療従事者との懇談

地域医療に携わる医師等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

● 雪かたし体験、郷土料理体験及び地域住民との交流

地域住民の自宅を訪問し、『雪かたし』及び『郷土料理作り』を体験するとともに、住民との交流などをおし、地域の実情について知ってもらいます。

過去の研修



へき地医療拠点病院の視察



雪かたし体験



住民宅訪問



医療従事者との意見交換

アピールポイント

- 奥会津地域のへき地診療所、へき地医療拠点病院及びそれを支える地域医療支援病院を視察することで、それぞれの果たす役割について知ってください。
- 地域医療支援病院である竹田総合病院と会津地域のへき地診療所等をITネットワーク化し、病診連携や患者利便性の向上を図る地域医療連携ネットワークシステムの概要について説明を受けます。
- 地域住民の自宅を訪問し、『雪かたし』や『郷土料理作り』を体験し、住民と交流をします。それにより、地域の生活や受診などの実情を知ってください。

参加者の声



今回、この研修に参加したことによって地域医療というものを初めて生で見る事ができて、たくさんのことを学んだ気がします。

今まで地域医療がどういうものか分かっていなかったのですが、実際に地域医療に携わっている医師の方々から話を聞くことができ、以前よりも地域医療についての理解を深めることができました。

また、研修の全てが本当に充実していてとても密度の濃い1日1日を過ごせたと思います。研修内容も堅苦しいものでなく、楽しく研修をすることができました。

私の中で色々な変化が起こった研修となり、この研修に参加して本当に良かったと思います。

今回の研修を終えて、僕のへき地医療に対するイメージが大きく変わりました。

研修に参加する前はへき地医療というと、大きな手術などの治療は行うことができないため、患者さんを完治させて帰してあげることができない等のネガティブなイメージがありました。

しかし、へき地医療に従事する医師の方々は、どこまで自分たちができるのかを必死に考え、少しでも患者さんがよい状態で、大きな病院に向かうことができるように尽力していました。確かに大変なことではありますが、魅力のある役割を任されているなど感じるようになりました。

実際に研修に参加しないとこのような医師の姿を見られないと思います。今回は参加させていただき、本当によかったです。



行程表

※ 全行程借り上げバスでの移動となります。

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
2月28日(木)	8:30	朝(-)	三島町
	9:00	昼(○)	「森の校舎 カタクリ」
	11:00～12:00	夜(○)	
	13:30～14:30		
	14:30～15:30		
	16:00～20:00		
	20:00～21:00		
3月1日(金)	9:30～11:00	朝(○)	
	11:10～12:00	昼(○)	
	13:00～14:00		
	14:00～15:30		
	17:00		
	17:30		



被災地における地域医療とは・・・!?

～被災地の“今”を知って、自分なりの“医師像”を探してみませんか～



【期日】平成25年3月4日（月）～5日（火）1泊2日



研修の概要

○ 研修の趣旨

相双地域の医療従事者や地域住民との交流を通じて、東日本大震災により大きな被害を受けた相双地域の医療の現状と課題等について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

- 地域医師会の協力を得て、在宅医療の訪問活動に同行し、実際の活動状況について学びます。
- ホールボディーカウンターを導入し、住民の内部被ばく検査を行うなど相双地域医療の中核を担う病院の一つであり、今般、基幹型臨床研修病院に指定された「南相馬市立総合病院」を視察し、震災直後から現在に至る被災地医療の現状と課題等について学びます。
- 東日本大震災後、応急仮設住宅に避難した地域住民の要望を受けて開設された「絆診療所」を視察し、被災住民に密着した医療活動について学びます。

過去の研修



医療従事者との懇談



病院の視察



スクリーニング体験



被災状況視察

アピールポイント

- 東日本大震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学んでください。
- 応急仮設住宅の住民との交流等を通じ、被災住民の医療に対する期待とは何かを学んでください。
- 沿岸部の津波被害をはじめとする震災被害と復興の現状を見てください。

参加者の声



福島のことをもっと知りたい。特に、震災や原発の影響でいろいろ被害も大きく大変である様子が新聞などで報じられている相双地域を「今だから見ておきたい」と思い、この研修に参加しました。

病院で医療行為を見学したりの実験を積むことも大切だと思いますが、今回の研修では地域住民や仮設住宅で暮らす人々との交流や村長さんや保健所の職員の方々との交流など、普通に学生生活を送っていたら経験できないことがたくさんあり、とても刺激的で魅力的でした。

今回学んだことを自分が今後生かしていけるように、そして一緒に学ぶ仲間たちとも共有して、切磋琢磨していきたいと思っています。

本研修に参加した理由は2つあります。1つは過疎地の医療に興味があったこと、2つめは被災地の現状を知りたかったことです。

今回訪問した診療所で患者さんから伺ったお話で印象に残ったのは、「診療所のおかげで安心して生活ができる」、「村が元どおりになるためには、医療の充実が必要だ」というものでした。

過疎化の進む地方において、どれだけ地域医療が重要であるか改めて認識することができました。

被災地視察では、津波の被害を感じる中にも、復興に向かう様子を知ることができました。

がれきが片付けられ、一見すると大きな更地のように見える現場は、震災前の様子を知る人たちにとっては耐え難い悲慘なものなのだと思います。

今まで以上に「復興」への思いが高まるのを感じました。



行程表

※ 全行程借り上げバスでの移動となります。

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊	
3月4日(月)	9:30	朝(-) 昼(O) 夜(O)	南相馬市内 のホテル	
	10:00			J R 福島駅西口発 福島県立医科大学着
	10:30 ~ 11:00			オリエンテーション
	13:00 ~ 14:00			東日本大震災被害状況視察
	14:00 ~ 14:30			被ばくスクリーニング体験
	14:30 ~ 15:30			在宅医療への同行見学
	15:30 ~ 17:30			南相馬市立総合病院の視察・院長の講話
	18:00 ~ 20:30			医療従事者との懇談・夕食
3月5日(火)	9:00 ~ 11:00	朝(O) 昼(O)		
	11:00 ~ 12:00			相馬市内見学 絆診療所の視察・外来患者との交流
	15:00			福島県立医科大学着
	15:30			J R 福島駅西口着

冬から春の風景



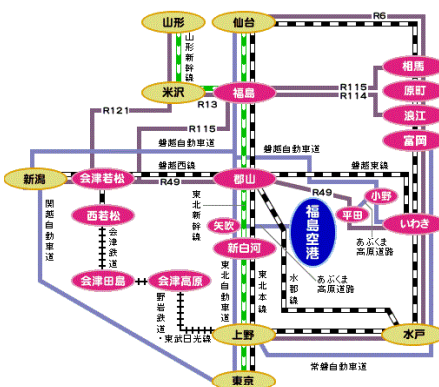
募集案内

対象者	地域医療に興味のある医学生
参加費用	無料 ※ 出発地から集合場所までの往復の交通費は各自ご負担となります。
申込方法	必要事項を記載した申込書を福島県地域医療支援センターまで、電子メール又はFAXでお送りください ※ 申込書は、別紙又は福島県地域医療体験研修のWebページからダウンロードしたものを使用してください。
申込期限	平成25年2月12日（火）
参加者の決定方法	先着順 ※ 申込者の数が定員を上回った場合は、県が申込書に記載の希望を踏まえて調整を行います。なお、結果は、県から皆様へ電子メール又は電話でお知らせします。

募集内容

コース	日程	研修内容	募集人数	集合場所・日時
県南	3月12日（火） ～13日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の視察 訪問診療や回診への同行 医療従事者との懇談会 吉田富三記念館見学 白河市内の散策 	5人	福島駅西口バスプール 3月12日 午前 8時30分 福島県立医科大学 3月12日 午前 8時55分 新白河駅東口バスプール 3月12日 午前10時25分
会津	2月28日（木） ～3月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の視察 医療従事者との意見交換 生活体験（雪かたし・郷土料理作り）及び住民との懇談 会津若松市内の観光 	10人	福島駅西口バスプール 2月28日 午前 8時30分 福島県立医科大学 2月28日 午前 8時55分
相双	3月4日（月） ～5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 震災被害状況の視察 医療機関の視察 在宅医療の同行見学 医療従事者との懇談会 外来患者との交流 相馬市内の見学 	5人	福島駅西口バスプール 3月4日 午前 9時30分 福島県立医科大学 3月4日 午前10時00分

福島駅までのアクセス



■ 東北新幹線

東京駅→福島駅 最短 84分 1時間あたり2～4本
東京駅 6:20 発の「やまびこ 201号」に乗車されますと、福島駅に 8:13 に到着します。

仙台駅→福島駅 最短 21分 1時間あたり2～4本
仙台駅 7:52 発の「やまびこ 208号」に乗車されますと、福島駅に 8:18 に到着します。

■ その他

東京（東京駅・新宿駅）と福島駅の間は、路線高速バスやツアー高速バスが運行されています。

なお、福島駅周辺には、ビジネスホテルが複数有り、早い時期に予約すれば、1泊 5,000円前後で宿泊することが可能です。

研修の詳細、参加申込等の総合窓口

福島県地域医療支援センター 電話 024-547-1711 FAX 024-547-1715

電子メール rmsc@pref.fukushima.lg.jp

福島県 地域医療体験研修 検索

研修担当

県南地区 県南保健福祉事務所総務企画課 片平 電話 0248-22-5447
 会津地区 会津保健福祉事務所総務企画課 宮嶋 電話 0242-29-5506
 相双地区 相双保健福祉事務所総務企画課 桃井 電話 0244-26-1326

